

和剣

VOL. 45

2009年 5月29日

和歌山県スポーツチャンバラ協会
〒640-8441 和歌山市栄谷535 観音寺
TEL 073-452-3880
FAX 073-452-3880

1. 合同稽古会（第15回）の結果。

5月16日の第15回合同稽古には、石上、瀧本、福森、岡崎、岡崎（弟）、大江、川口、柚岡（太）、崎山、谷中、小倉、安田が参加。基本動作、小太刀の形（3本）、地稽古を行いました。普段とは違う相手との稽古への取り組みであり、大きな成果が挙げられたように思われます。

なお、川口充紀氏（大友館）が小太刀の初段位を取得したことが報告されました。

2. 和歌山県レクリエーション協会評議員会の結果。

5月27日の標記会議に安田会長が出席。レク協の事業と予算についての、平成20年度実績と平成21年度計画についての審議が行われました。「自分のためではない、皆のため」というレクリエーション協会の地道な活動指針の大切さを改めて認識しました。

3. 審判講習会（第2回）の案内。

6月21日（日）の午前10時から本町道場で審判講習会を実施します。協会主催大会の自主的で充実した運営を図るためには審判団の編成能力の涵養が大切です。指導者は受審に努めて下さい。募集締め切りは6月10日（水）。詳細は事務局へ照会して下さい。

4. 段位審査会（第3回）の案内。

6月21日（日）の午後1時から本町道場で段位審査会を実施します。段位とは自己の修行の結果と、今後の精進を展望する階梯です。段位種目には小太刀のほかに、長剣、二刀、槍、棒などの諸種目があります。「自分の修行」だけでなく、「門人の指導」のためにも段位を取得しておくことが大切です。募集締め切りは6月10日（水）。詳細は事務局へ照会して下さい。

5. 合同稽古会（第16回）のお知らせ。

6月21日（日）の午後2時～4時まで、合同稽古を実施します。折角の機会ですから、都合の付く会員の皆さんは是非、御参加下さい。但し、都合により取り止めることがあります。

6. 合宿について。

和歌山県協会の合宿を7月25日（土）から26日（日）にかけて、花園村の施設を利用して実施するべく、大江理事が合宿の企画を進めてくれています。折角の機会ですから、参加を目指して日程の調整に努めておいて下さい。

➡ 「一の太刀」★

—戦国の遺風を残す、一刀必殺の実戦剣法—

薩摩藩の御流儀剣法である示現流の恐ろしさは「初太刀で相手を倒す」その基本姿勢に尽きる。示現流に「攻」はあっても「防」がない。その基本姿勢は「意地」「業」「打」のキーワードに集約される。生死の分かれめに臨む心構えを養い（意地）、実行する力と技を鍛え（業）、初太刀で勝敗を決する（打）、示現流。その基本技「一の太刀」をみてみよう。

右肘を後方に引き、肩よりも若干高めに上げる。左腕は脇を締めて胸元に付け、左手首を右の頬にくるようにして大刀を構える体勢を「とんぼの構え」と呼ぶ。左手を使わず、右手の力だけで斬る独特のもので、この構えで斬り込むからこそ絶大な攻撃力を発揮し得るのだ。

（牧 秀彦 著 「図説 剣技・剣術」株式会社 新紀元社 発行 より 抜粋）